平成 28 年度中小企業診断士第 2 次試験 解答例

【中小企業の診断及び助言に関する実務の事例IV】

第1問(配点25点)

(設問1)

	(a)	(p)
1	売上高経常利益率	10.11 (%)
2	有形固定資産回転率	1.77 (回)
3	負債比率	143.90 (%)

(設問2)

原	因	は	`	新	社	屋	の	用	地	と	し	て	市	内	の	好	適	地	を
取	得	し	た	が	`	未	使	用	で	あ	り	`	投	資	資	金	と	し	7
借	入	れ	を	行	2	た	た	め	に	負	債	と	支	払	利	息	が	増	加
L	た	IJ	と	で	あ	る	0												

第2問(配点35点)

(設問1) (単位:百万円)

税引前当期純利益		39
減価償却費	(36)
減損損失		56
営業外収益	(△8)
営業外費用	(20)
売上債権の増減額	($\triangle 1)$
棚卸資産の増減額	(△3)
仕入債務の増減額	(3)
その他		13
小計	(155)
利息及び配当金の受取額		_
利息の支払額		$\triangle 4$
法人税等の支払額		△35
営業活動によるキャッシュフロー	(116)

(設問2)

			土	地		建物・器具備品							
	()	投資	資額	6年後の	売却価値	投資	資額	6年後の売却価値					
	(a)	当初投資時点	現在価値	売却価値	現在価値	1年後	現在価値	売却価値	現在価値				
1		-320	-320	320	226	-470	-443	375	264				
	(b)	る必要は	ないためー: [=6 年後の智		値を考慮す	• $-470 \times 0.9434 = -443$ • $420 - (420 \div 30 \times 5) + 50 - (50 \div 10 \times 5) = 375$ • $375 \times 0.7050 = 264$							

	(a)	69 百万円	
2		税引後 CF×4. 2124×0. 9434-(税引後 CF≧68. 6… ∴税引後 CF の増加分は 69 百万	

第3問(配点15点)

(a)	貢献利益=限界利益 49-個別固定費 40=9(百万円)																			
	閉	店	す	7,	き	で	は	な	٧١	0	営	業	利	益	は	負	で	あ	る	が
(b)	貢	献	利	益	は	正	0)	た	め	`	共	通	固	定	費	0)	口	収	に	寄
	与	L	て	11	る	カュ	Ġ	0												

第4問(配点25点)

(設問1)

営	業	時	間	外	の	予	約	受	付	P	店	舗	情	報	の	掲	載	に	ょ
り	収	益	は	増	加	し	て	\ \	る	が	`	シ	ス	テ	ム	料	金	Ъ	予
約	管	理	費	に	ょ	り	費	用	ŧ	増	加	し	7	い	る	0			

(設問2)

	(a)	(b)
1	860 百万円	変動費率:560÷1,120=0.5 固定費 :430 損益分岐点売上高:430÷(1-0.5)=860
2	18 百万円(低下)	変動費率: $\{560-(1,120\times1.8\%\times1/3)\}$ ÷1,120=0.494 固定費: $430-(12\times2/3)+(20\div5)=426$ 損益分岐点売上高: $426\div(1-0.494)=841.89\cdots$ 変動額: $841.89\cdots-860 = -18$
3	10 百万円(低下)	損益分岐点売上高: 430÷(1-0.494)=849.80··· 変動額: 849.80···-860≒-10